

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立矢田小 学校

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	21.95	19.80	38.80	33.00	49.00	9.42	159.60	19.00	48.25
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	20.70	15.50	47.50	29.80	33.50	11.01	148.30	11.60	51.40
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点の平均の記録は、男子は昨年度より7ポイント下回り、女子は昨年度より8.3ポイント下回った。結果的に、男子は大阪市平均を3ポイント、全国平均を4.2ポイント下回った。女子は、大阪市平均を1.1ポイント、全国平均を2.5ポイント下回った。しかし男女とも握力と長座体前屈はいずれも大阪市・全国平均を上回っている。また、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する回答状況については、肯定的に回答する児童の割合が男子97.6%、女子100%で、男子女子共に全国・大阪市平均を大きく上回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男女共に0%で、全国平均を上回った。以上のことから、体力合計点は大阪市・全国平均より低いものの、普段から運動やスポーツに親しんで積極的にしようとする傾向があるといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、基礎体力・運動能力の向上を目指し、体育の年間計画にしたがって授業の充実を図るとともに、児童が進んで運動に親しむ機会を設けてきた。体育の授業以外にも週に一回の集会活動を通して運動に親しむようにしてきている。12月には長居公園で行われるマラソン大会に向けて「マラソン週間」を2週間設定し、体力の向上に関心を持つ機会を設けた。その結果、特に「マラソン週間」では、休み時間に自主的に運動場を走る児童が数多く見られた。今後も、これらの取り組みを継続して続けていくことにより、より一層の基礎体力向上を期待したい。運動することが楽しいと感じるような活動の工夫を進めること、十分な運動量を確保できる授業の組み立てや指導内容の検討を行い、基礎体力の向上を努めることを課題として取り組んでいく必要がある。